

横須賀ごみ処理施設の建設について

横須賀市資源循環部
広域処理施設建設室

広域で処理するごみ

広域で処理するごみ

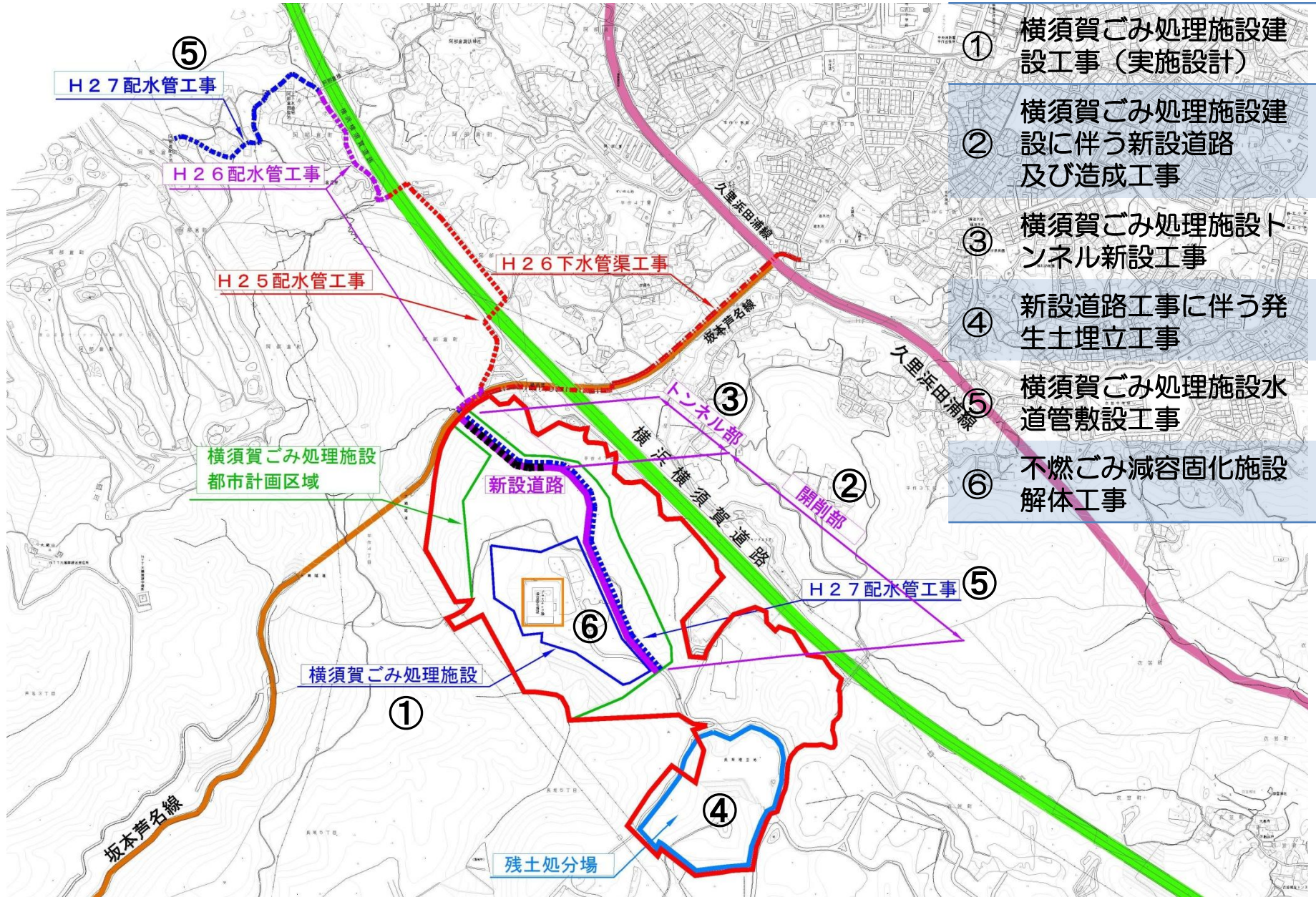
- ・可燃ごみ(燃せるごみ)○○○
- ・不燃ごみ
- ・粗大ごみ

廃プラスチック類含む
(バケツ、CD等)

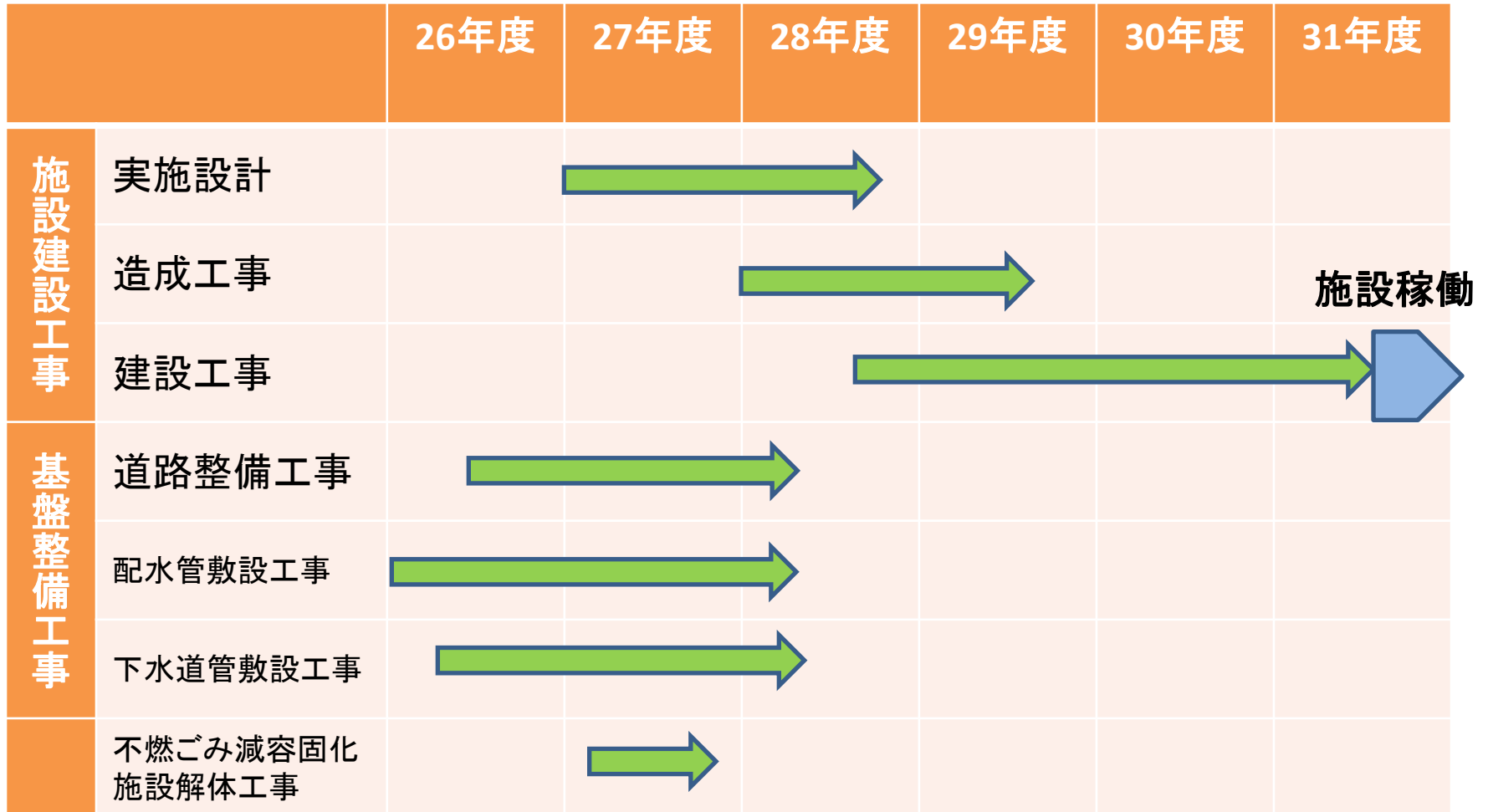
各市で処理するごみ

- ・紙(資源化できる紙)、繊維類
- ・容器包装プラスチック
- ・缶、ビン類
- ・植木剪定枝

位置図



建設計画スケジュール



焼却施設の概要

- 燃せるごみの焼却処理を行います。

処理方式

ストーカ式焼却炉(3炉構成)

処理能力

1日あたり約360トン

階層

地上6階 地下1階

煙突の高さ

59m

不燃ごみ等選別施設の概要

- 不燃ごみと粗大ごみの破砕・選別処理を行います。

処理方式：

破砕選別

* 資源化のため、鉄・アルミなどを選別します

処理能力

1日あたり約30トン

階層

地上3階 地下1階

焼却施設の排出ガス自主基準値

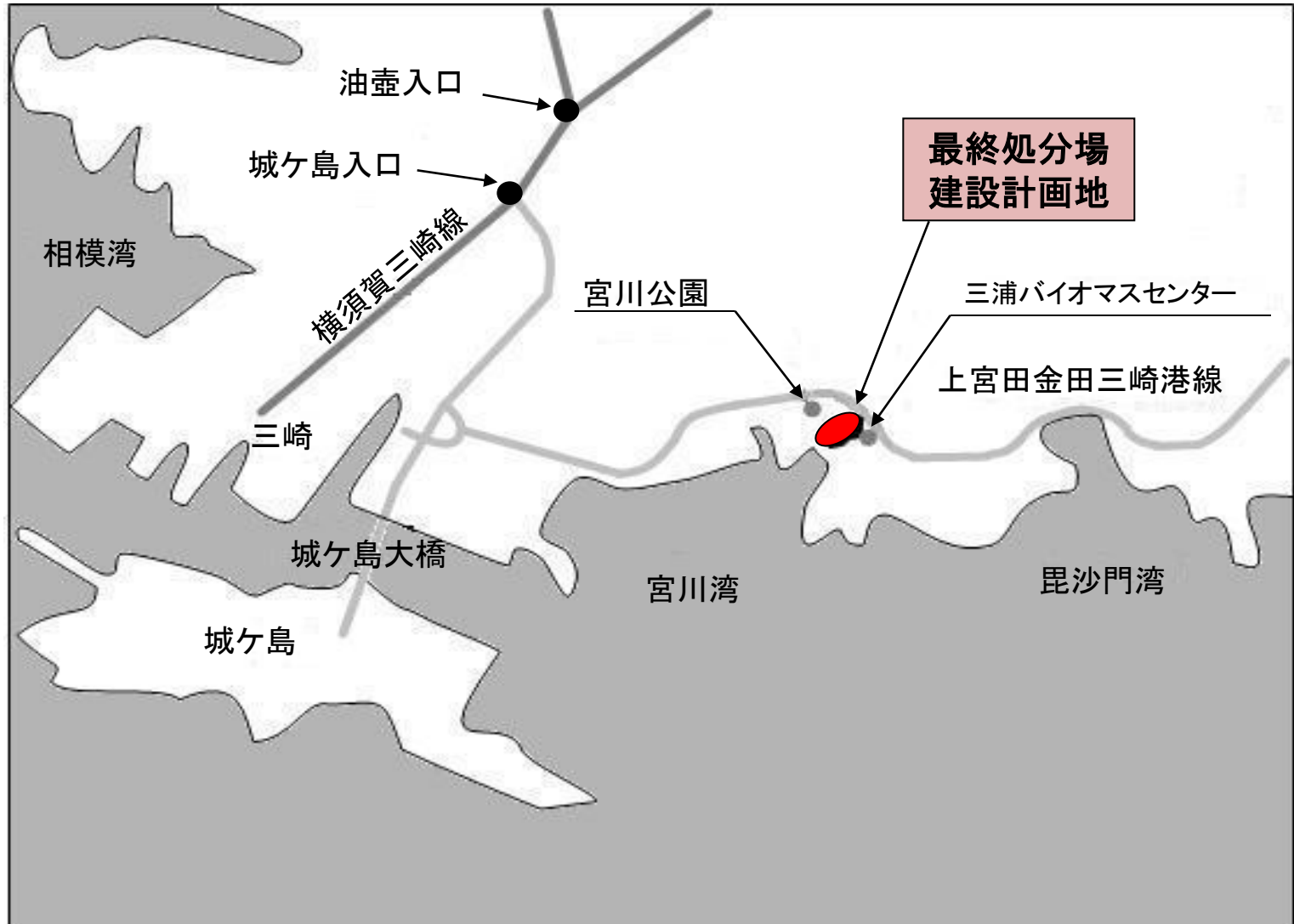
項 目	環境法令に定める 規制基準値		新しい施設の 自主基準値		南処理工場の 自主基準値	
	ばいじん (g/m ³ N)	0.04	以下	0.005	以下	0.03
塩化水素 (ppm)	430	以下	10	以下	25	以下
硫黄酸化物 (ppm)	100から 1,000	以下	8	以下	30	以下
窒素酸化物 (ppm)	250	以下	20	以下	150	以下
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ N)	0.1(新設) 1.0(既設)	以下	0.005	以下	※ 1 (既設法規制値)	以下

※平成12年1月15日にダイオキシン類対策特別措置法施行規則が施行
 昭和58年に稼働した南処理工場は平成12年度から平成14年度まで対応工事を行い、
 経過措置として、平成14年度から既設炉の規制値(1ng-TEQ/m³N)が適用された。



本資料の無断複写複製を禁じます

最終処分場建設計画地



最終処分場の概要（三浦市に建設）

- 不燃ごみ等選別施設から発生する不燃性残さを埋立ています。

処理（埋立て）方式：

サンドイッチ方式

* 廃棄物層と覆土層を交互に積み重ねる方式

埋立容量

約57,500m³

埋立期間

約17年

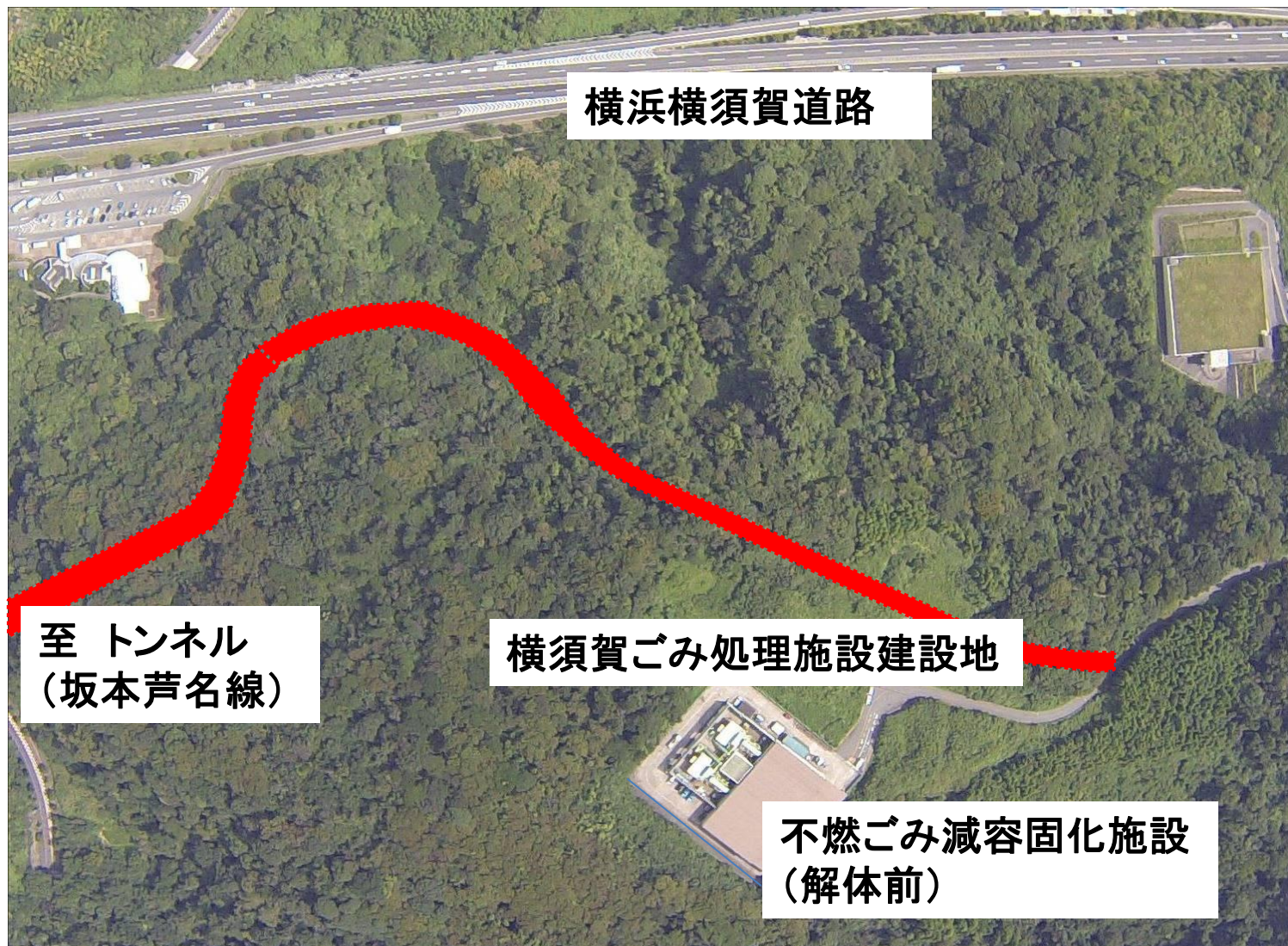
現在行われている工事

- ① 横須賀ごみ処理施設建設工事(実施設計)
- ② 横須賀ごみ処理施設建設に伴う新設道路及び造成工事
- ③ 横須賀ごみ処理施設トンネル新設工事
- ④ 新設道路工事に伴う発生土埋立工事
- ⑤ 横須賀ごみ処理施設水道管敷設工事
- ⑥ 不燃ごみ減容固化施設解体工事

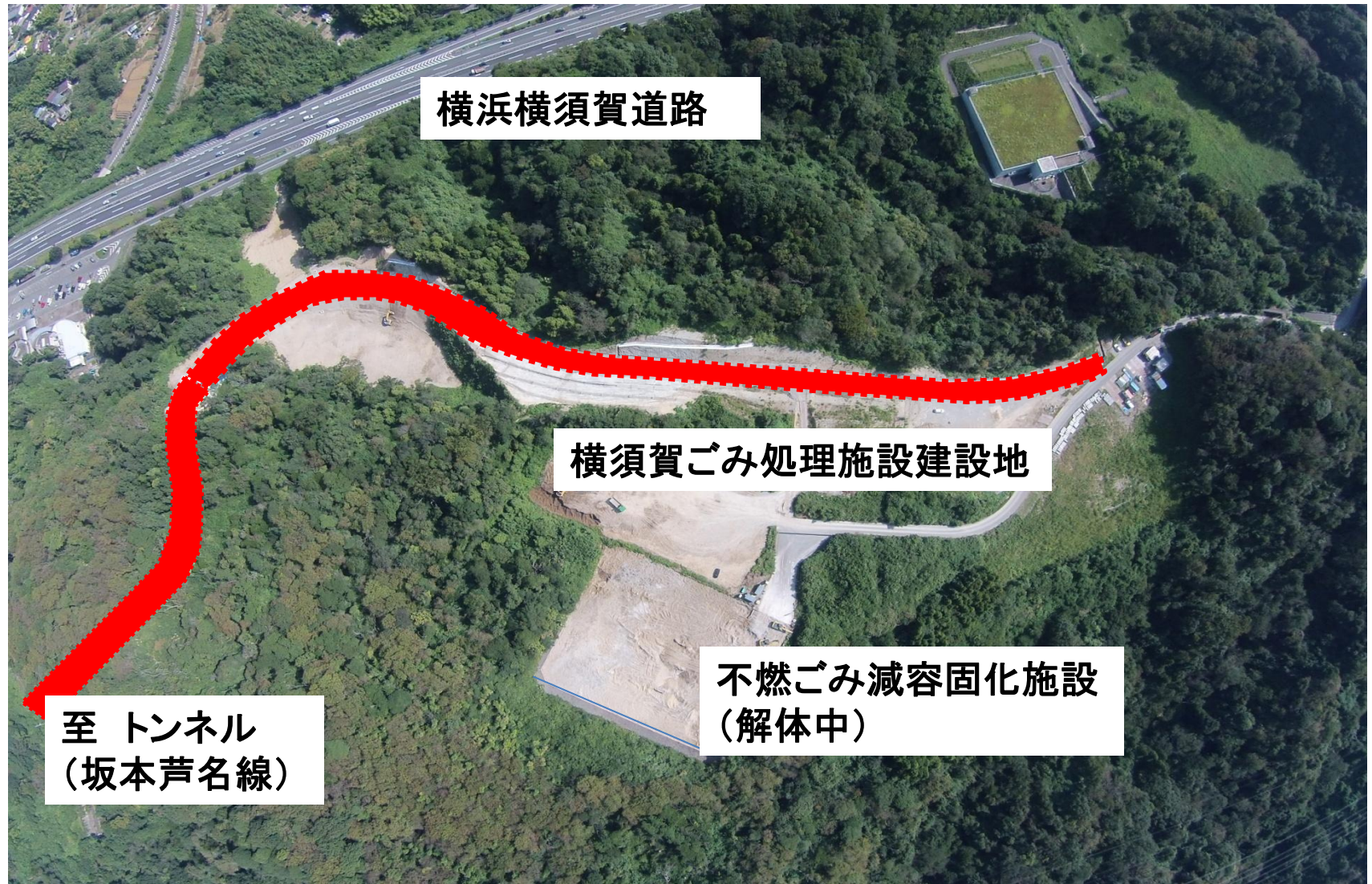
①横須賀ごみ処理施設建設工事スケジュール

平成27年度	実施設計、許認可申請 (建築基準法関係、その他法規・条例関係) <ul style="list-style-type: none">・ 実施設計協議(ライフライン、施設平面図等)・ 許認可申請事前協議及び申請書類作成
平成28年度	造成・建築工事 <ul style="list-style-type: none">・ 造成工事着工(平成28年4月予定)・ 建築工事着工(平成29年2月予定)
平成29年度	建築工事
平成30年度	建築・プラント工事、外構工事
平成31年度	建築・プラント工事、外構工事 試運転、施設稼働

②横須賀ごみ処理施設建設に伴う新設道路 及び造成工事(施工前)(平成26年10月撮影)



②横須賀ごみ処理施設建設に伴う新設道路 及び造成工事(現況)(平成27年9月撮影)



②横須賀ごみ処理施設建設に伴う新設道路 及び造成工事

施工前(平成26年10月撮影)



施工後(平成27年9月撮影)



③横須賀ごみ処理施設トンネル新設工事(施工前)
(平成26年12月撮影)



③横須賀ごみ処理施設トンネル新設工事(現況)

坂本芦名線側 (平成27年6月撮影)



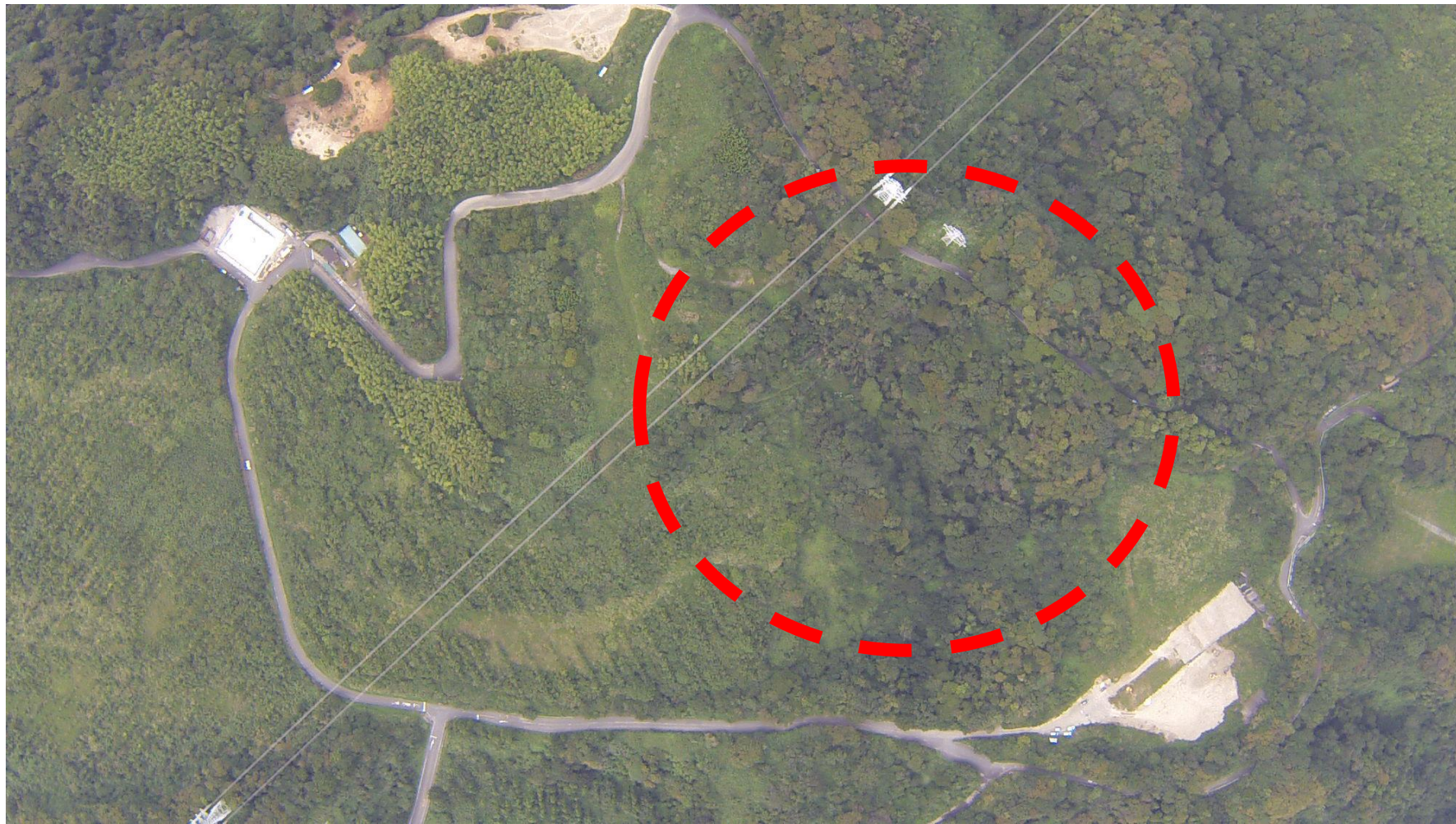
施設建設予定地側(平成27年9月撮影)



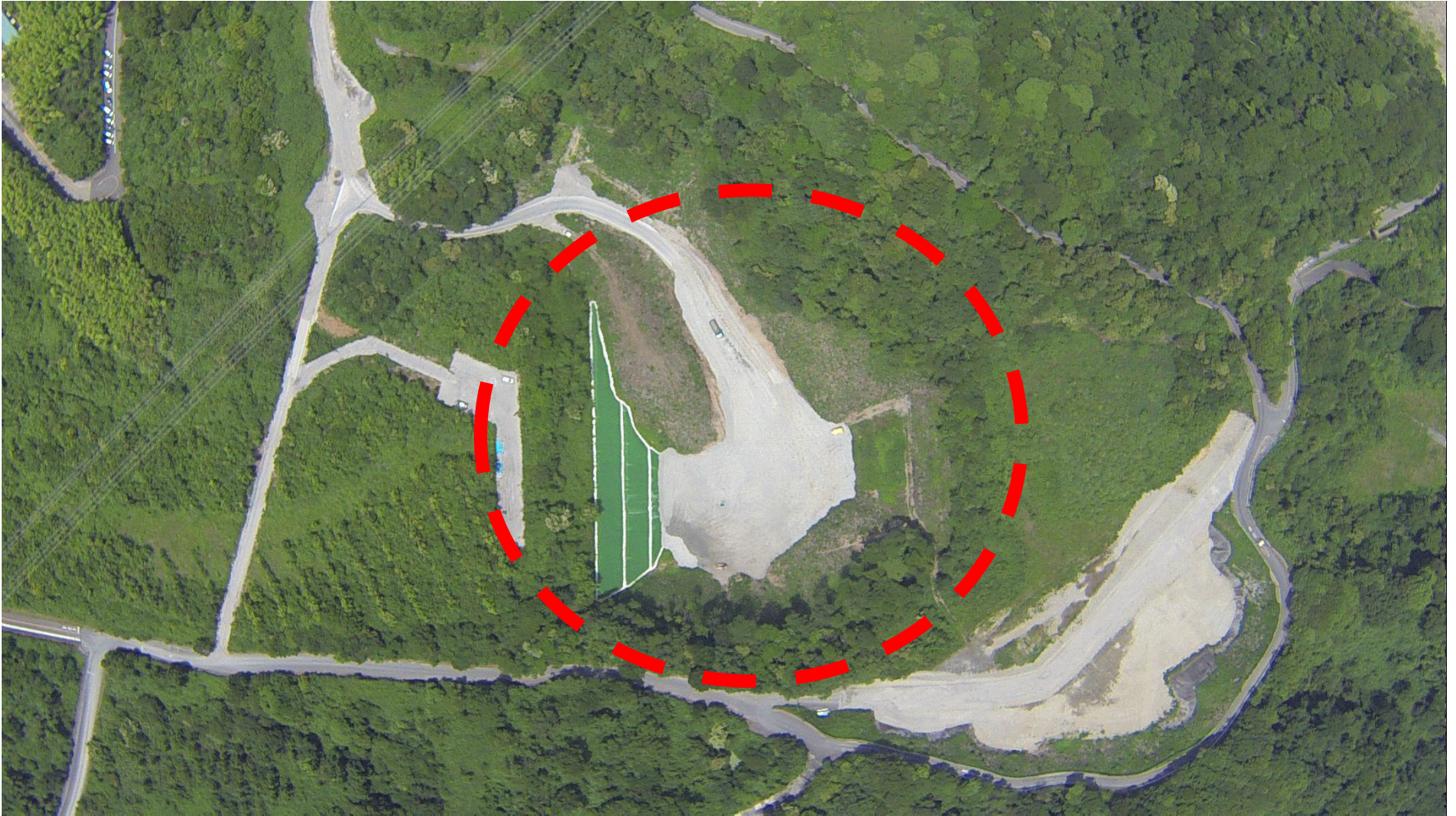
③横須賀ごみ処理施設トンネル新設工事(内部) (平成27年6月撮影)



④新設道路工事に伴う発生土埋立工事(施工前)
(平成26年8月撮影)



④新設道路工事に伴う発生土埋立工事(現況)
(平成27年6月撮影)



④新設道路工事に伴う発生土埋立工事

施工前(平成27年2月撮影)



施工後(平成27年6月撮影)

